

平成31年度
(2019年度)

一般会計・特別会計予算概要

平成31年2月

函南町長 仁科 喜世志

一般会計予算

平成31年度 函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 112億4,200万円で、前年度比 4億8,800万円、4.2%の減額となりました。

第6次函南町総合計画の将来都市像「環境・健康・交流都市函南」の実現のために、町民の安全・安心をはじめ、暮らしやすく、活力ある元気なまちづくりを目指し、各分野において行政効果が最大限に発揮できるよう、「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の6つの基本政策のもとに、主要事業の着実な推進を図ります。

主な施策としましては、次のとおりです。

施策の柱：環境【環境・防災】

基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 13億 8,035万円

地球温暖化による世界的規模でみられる気候変動による大規模災害や、エネルギー問題を踏まえ、省エネルギー化の推進、再生可能エネルギーの活用、環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図ります。

また、老朽化の進む建築物や橋梁等の耐震化を図り、防災体制強化を含めて、総合的に防災力を向上させ、災害に強いまちづくりを進めます。

さらに、高齢者の交通事故が増加傾向にあるなか、町民の安全を守るため、意識啓発をはじめとした交通安全対策を進めるとともに、町民の生命と財産を守るため、消防体制の充実を図ります。

・再生可能エネルギーの普及および機器への助成

再生可能エネルギーの利用推進と家庭から発生するCO₂の排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システムの設置に助成します。 予算額 1,080千円

・ごみの減量活動の支援促進

地球温暖化を防止し、限りある資源の有効利用を図るため、生ごみ処理機の普及活動や、段ボールコンポストの周知など、ごみの減量化を推進します。 予算額 475千円

・省エネルギー推進事業

公共施設の照明のLED化を推進し節電を図り、CO₂の排出量の削減に努めます。

予算額 1,800千円

・廃棄物処理施設の維持管理補修事業

ごみ焼却場について、経年劣化による施設状況を的確に把握し、修繕計画に基づいた計画的で効率のよい施設の改修を行います。 予算額 95,000千円

・高齢者運転免許証自主返納の支援

高齢運転者の運転免許証の自主返納を支援し、自動車事故の防止に努めます。

予算額 754千円

- ・消費者相談窓口の充実

専門知識を有する消費生活相談員を雇用し、相談窓口の充実を図ります。

予算額 2,924千円

- ・ポンプ自動車の購入

消防団第2分団（軽井沢地区）に貸与しているポンプ自動車を更新し、消防団の機能強化を図り、安心・安全なまちづくりを推進します。

予算額 12,024千円

- ・広域避難所設備の整備

丹那小学校の体育館にポータブル発電機を設置し、災害の停電時に電源の確保を図ります。また、老朽化により腐食している函南中学校の防災倉庫を更新し、資器材を安全に確保します。

予算額 6,562千円

- ・災害時情報発信の強化

災害時の情報を伝達する手段に、メール配信と防災ラジオを加え、避難情報などの緊急情報をより多くの町民に知らせることにより、避難行動を促進すると共に犯罪の未然防止を図ります。

予算額 5,548千円

- ・災害対策用資機材の整備

同時通報無線設備の技術基準の改正により、現行のアナログ方式からデジタル方式に設備の更新をするため、年次計画による整備を行います。

予算額 64,521千円

- ・消防救急体制の強化

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合、へ負担金を支出します。また、消防団詰所の耐震対策事業を実施することにより、災害時の消防団活動の安全を確保し、防災力の強化を図ります。

予算額 473,102千円

施策の柱：環境【社会基盤】

基本目標 ◎ コンパクトで効率的な都市づくり 10億 6,615万円

老朽化の進む公共施設の長寿命化を図り、将来にわたり利用できるような効果的・効率的な都市基盤の整備・維持を図ります。

また、町民の生活のための交通を確保し、中山間地域と市街地との連携に努めるとともに、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等の取り組みを行います。

さらに、自然環境と調和した景観形成や、駅や拠点施設・幹線道路沿いにおける高質な土地利用の実現に取り組みます。

- ・光ファイバー網整備助成事業

高速インターネットが未整備である山間東部地域（丹那小学校区）に、光ファイバー網を整備するため、光回線を提供する事業者へ県・町が連携して補助金を交付し、情報通信基盤の地域格差を是正します。また、小学校のICT化や防災情報をはじめとする多様なサービスを提供することで、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進します。

予算額 60,000千円

- ・合併浄化槽設置の普及促進事業

快適な生活環境の実現と公共水域の保全のため、公共下水道区域外の生活排水処理について合併浄化槽への切替えを促進します。

予算額 3,341千円

- ・地域公共交通網形成計画策定事業

将来の移動交通手段を確保し、日常生活の利便性の向上を図るため、行政・地域住民・交通事業者が協力して、地域により最適な公共交通の実現に向け、地域公共交通網形成計画を策定します。

予算額 3,975千円

- ・交通基盤の整備

通勤・通学路の安全確保や車両の円滑な通行を確保するため、主要道路及び狭あい道路の拡幅や舗装の打替え等町道の整備を行います。

予算額 144,499千円

- ・子どもと親の笑顔が見える公園整備事業

柏谷公園のトイレ改修と屋外遊具を整備することで、子育て世代の利便性の向上と利用者の拡大を図り、親子が安心して遊べる居場所づくりを推進します。

予算額 9,673千円

- ・公共下水道事業の推進

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計へ繰出しを行います。

予算額 436,009千円

施策の柱：健康【健康・福祉】

基本目標 ◎ 誰もが生き生き暮らせる健康づくり 43億 8,499万 2千円

安心して子どもを産み育てられるよう、切れ目がなく、きめの細かい母子への支援を充実します。

また、夜間も含めた在宅診療・救急医療体制の充実を図り、保健・福祉・介護が連携した医療体制の充実に取り組みます。

さらに、地域全体で子どもの成長を見守り、地域や町民・行政が連携するとともに、多様化するニーズへの的確に対応します。

- ・産前産後サポート事業の拡充

産前産後の不安を解消するため、会場を湯〜トピアかなみに移し、温泉によるリフレッシュ効果や、地域の母親同士の仲間作りを促し、家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう、相談支援や産後の体操、参加者同士の交流をサポートします。

予算額 529千円

- ・健康アクティブプログラム事業の推進（企業応援型）

メタボリックシンドロームの予防のため、企業に出向き、事業所の健康課題の抽出や健康講座や運動実践、面接等を通じて、予防のための運動や食事等の正しい知識の普及を図ります。

予算額 165千円

- ・生活習慣予防事業の推進

生活習慣病の予防やがんの早期発見により健康寿命の延伸を図るため、健康マイレージとロコモ体操の普及事業を推進するとともに、一般検診やがん検診の普及・啓発を行い、受診率の向上、運動習慣の動機づけ・健康意識の改革に努めます。 予算額 43,183千円

- ・国民健康保険制度の円滑な運営

医療技術の進歩により、被保険者の医療制度に対する依存度が高くなる中、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。 予算額 281,331千円

- ・後期高齢者医療制度の円滑な運営

高齢者が安心して医療を受けられるように、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。 予算額 430,326千円

- ・介護保険事業の円滑な運営

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。 予算額 400,363千円

- ・成年後見制度推進事業

市民後見人の資格を持たない一般の町民のうち、成年後見制度に関する一定の知識・態度を身に付けた良質の成年後見人を育成します。 予算額 1,248千円

- ・救急医療体制の整備促進

夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、沼津夜間救急医療対策協会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保・充実を図ります。 予算額 10,811千円

- ・障害者(児)相談支援の充実

基幹相談支援センターを拠点として、障害のある人が住み慣れた地域で自立し、社会参加できる環境を推進するために、福祉サービスの利用や各種制度の活用支援、生活上の困り・悩み事など、相談支援の充実を図ります。 予算額 13,337千円

施策の柱：健康【教育】

基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 17億 1,858万 6千円

子育て世代が安心して生活できるよう、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを構築します。

また、郷土のことはもとより、歴史や文化、伝統等について理解を含め、地域への誇りと愛着を育成します。

さらに、各種スポーツ大会や、コンベンションを通じた交流機会の拡大と地域コミュニティづくりを行い、生涯を通じて心身ともに充実した人生を送ることができる環境を整備します。

- ・総合保育業務支援システムの導入

定員190名の大規模な西部保育園に従事している保育士の業務処理の効率化を図るため、総合保育業務支援システムを導入して、働きやすい環境の整備に努めます。また、園児の出欠席や身体測定記録等、日々の記録を電子化により管理します。 予算額 378千円

- ・子宝祝い金の拡充

第4子以上を対象に支給している子宝祝い金を第3子以上に拡充し、子育て支援の充実を図るとともに、合計特殊出生率の引き上げを目指します。 予算額 2,000千円

- ・預かり保育の拡充

保育園での対応が困難な待機児童解消対策として、春光幼稚園とみのり幼稚園、自由ヶ丘幼稚園で実施している預かり保育を丹那幼稚園に拡充することにより、共働き世帯やひとり親世帯へに対し、更なる子育て支援の充実を図ります。 予算額 22,673千円

- ・こども医療費等助成事業

子どもを持つ家庭の経済的な負担を軽減し、子どもが適切な治療を早期に受けられるよう高校生までの入院や通院に係る医療費を無料にします。 予算額 181,136千円

- ・学習障害用タブレットの購入

学習障害により、読み書きが困難な児童・生徒に対して、タブレットによる教科書の読み上げ機能のあるソフトを活用して、文字の形の認識、意味の認識、音の認識等に繋げる学習支援を行います。 予算額 922千円

- ・教育支援センターの充実

不登校や虐待など複雑化、困難化する今日的な問題に対処するため、教育支援センターにスクールソーシャルワーカー、生徒指導専門監等の専門家を配置し、教育支援環境の充実を図ります。 予算額 19,636千円

- ・教育環境の整備

函南中学校大規模改修事業の2年目の工事として、北側校舎を改修し、施設の耐用年数の延伸を図り、生徒の安全と教育環境の充実に努めます。 予算額 372,235千円

- ・図書館等複合施設の運営

図書館と子育てふれあい・地域交流センターからなる図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を学習、文化、交流の拠点として有効活用すると共に、生涯学習の場として図書館業務の充実を推進します。 予算額 66,061千円

- ・かなみスポーツ健康フェスタの拡充

スポーツのまちづくりと健康で長寿なまちづくりを目指して、従前のスポーツ健康フェスタを町民の健康意識の向上や親子のふれあい、さらに、幅広い世代間の交流が図れるような総合的なイベントに拡充し、スポーツの振興、健康づくりの推進を図ります。

予算額 1,029千円

- ・ かなみ仏の里美術館の運営

郷土の歴史と文化への理解を深め、将来に渡る文化財の保護、継承、保存のための美術館として、さらなる誘客を促すとともに、観光施設の拠点として適切な維持管理を行います。

予算額 15,149千円

施策の柱：交流【産業】

基本目標 ◎ 活力とゆとりを生み出す産業づくり 3億 8,923万円

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、豊かな文化資産・自然環境等を活かすとともに、道の駅を活かした観光情報の発信や、各種イベントの実施等により交流人口の増加を図り、地域経済の活性化につなげていきます。

さらに、道の駅等を拠点とした新産業・ビジネス機会の創出に取り組み、誘客の促進を通じた雇用機会の増加に取り組みます。

- ・ 川の駅施設の管理運営

ドッグランの利用や水辺に親しむ憩いの場として、地域住民や観光客の交流拡大を図り、地域の賑わいを創出するとともに、水防活動の拠点として適切な維持管理を行います。

予算額 21,217千円

- ・ 道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営を委託し、地域資源をPRするとともに、町内の農産物を利用した食を提供する等、各種の分野が連携をして観光振興の推進を図ります。

予算額 133,472千円

- ・ 住宅リフォーム助成事業の拡充

商工振興の活性化に加え、耐震リフォームとの併用により震災に強い住宅整備を促進します。また、利用促進のため、助成額を引き上げます。

予算額 5,000千円

- ・ 地域活性化の推進

インターネットを活用した特産物の周知により産業振興を図るため、ふるさと納税の促進を図ります。

予算額 20,167千円

- ・ 地域資源の推進と活用

函南ブランドに認定された地域の特産品をふるさと納税の返礼品や道の駅等で販売し、全国にPRすることにより、商工振興と地域の活性化を図ります。

予算額 452千円

- ・ 観光の振興と活用

地域資源を活かしたまちづくりのため、専門知識を有する観光プロデューサーを雇用し、観光振興施策の充実を図ります。また、かなみ桜を活用した誘客施策や猫おどり等を行う函南町観光協会に助成します。

予算額 9,623千円

- ・畜産振興補助事業の拡充

厳しい酪農経営の中でより経営の効率化を図るため、各種事業に対し補助金を交付し、経営の安定化を図ります。また、肉牛農家の経営安定を図るため、肉用素牛（にくようもとうし）の導入時に要する経費の一部を新たに助成します。 予算額 3,585千円

- ・企業誘致の促進

企業誘致を促進し、地域産業の高度化や地域経済の活性化を図るため、町の施策に沿って企業立地した事業者に対して、設備投資奨励金を交付し、雇用の創出を図るとともに、固定資産税をはじめとする町税の安定的な財源の確保に努めます。 予算額 1,000千円

施策の柱：交流【 交流・にぎわい 】

基本目標 ◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 23億 269万 2千円

各コミュニティが地域特性を踏まえつつ、地域内の交流を推進し、主体的に地域づくりに取り組めるような仕組みの構築を図ります。

また、地域内外から賞賛されるような愛着や誇りの醸成を図り、Uターンや移住に結び付け、定住につながる資源を活用し支援を促進します。

さらに、厳しい財政状況を踏まえ、計画的かつ効率的に事業を推進するとともに、町の事務事業の必要性、妥当性、効率性を点検・評価して、健全な財政運営を行います。

- ・移住就業支援事業

地方の担い手不足の解消を目的として、東京圏の人材を静岡県へ就業、函南町へ移住した者に補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住定住の促進を図ります。 予算額 1,000千円

- ・町民の参画と協働によるまちづくり

まちづくりブロック懇談会やまちづくりセミナーを開催し、町民との対話を続け、地域住民の行政参加につながるまちづくりを推進します。 予算額 135千円

- ・自治会活動の促進

核家族化によるコミュニティ活動の低下や地域の高齢化が深刻になる中、区長会を中心に自治会相互の連携を図り、各自治会の地域活動を促進します。 予算額 11,505千円

- ・地域交流、国際交流の推進

アメリカ合衆国カーマン市との姉妹都市交流事業として、カーマン市への学生の派遣や、スマイルパーティーの開催により国際交流を促進します。 予算額 1,887千円

- ・FMみしま・かななみの活用と支援

町で行われる各種イベントは、FMコミュニティ放送や町のホームページ・SNS・広報紙等を利用してPRし、参加促進を図る等広報活動に努めます。 予算額 7,041千円

- ・コンビニ収納事務の推進

納税者の納付機会の拡大と利便性の向上のため、コンビニエンスストアにおいて町税の納付ができるように事務の推進を図ります。

予算額 1,861千円

- ・町税収納率向上対策事業の実施

非常勤職員を雇用し、文書等による納税催告を徹底し毎週水曜日の窓口延長に併せ、納税相談コーナーを設けることにより、納税意識の高揚と納税環境の充実を図り、町税の収納率向上に努めます。

予算額 4,094千円

- ・情報セキュリティの強靱化

県のセキュリティアクラウドを利用し、個人情報のセキュリティ対策を強化します。

予算額 1,053千円

一般会計 歳入歳出別 概要説明

歳入

自主財源において、歳入の根幹をなす町税は、52億 8,433万 2千円で、前年度比 1.7%の増となりました。これは、主に町民税、固定資産税の増額を見込んだものであります。

分担金及び負担金は、1億 9,875万 2千円で、前年度比 20.4%の減となりました。これは、10月から実施される幼児教育・保育の無償化による利用者負担の減額を見込んだものであります。

使用料及び手数料は、1億 4,599万 5千円で、前年度比 6.6%の増となりました。これは、電柱や地下ケーブルなどの道路占用料の皆増によるものであります。

繰入金は、4億 4,870万 1千円で、前年度比 27.4%の減となりました。これは、廃棄物処理場建設基金繰入金は増額しているものの、運動公園建設基金繰入金の皆減のほか、財政調整基金などの繰入金の減額によるものであります。

これらに、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入を加えた自主財源の総額は、65億 3,009万 6千円で、前年度比 1億 3,587万 8千円、2.0%の減額となり、歳入に占める自主財源の割合は、1.3ポイント増の 58.1%となりました。

一方、依存財源において、自動車取得税交付金は、2,500万円で、前年度比 43.2%の減となりました。これは、地方税制改正における車体課税の見直しにより、9月末で廃止される予定の自動車取得税の減収分を見込んだものであります。また、新設の環境性能割交付金は、自動車取得税に変わり、10月1日より施行される予定の自動車税環境性能割分 2,000万円を見込んだものであります。

地方特例交付金は、9,655万円で、前年度比 244.8%の増となりました。これは、幼児教育・保育の無償化に係る経費分に対する臨時交付金の皆増によるものであります。

地方交付税は、10億 2,700万円で、前年度比 8.7%の減となりました。これは、算定の基礎となる基準財政収入額のうち、町税の増収分に対する減額を見込んだものであります。

国庫支出金は、11億 5,509万 9千円で、前年度比 8.8%の減となりました。これは、民生費の増加に伴う国庫負担金は増額しているものの、運動公園整備事業の見直しや川の駅建設事業の完了に伴う社会資本整備総合交付金の皆減によるものであります。

県支出金は、8億 785万 5千円で、前年度比 10.1%の増となりました。これは、高校生世代までのこども医療費の拡大に伴う補助金の増額に加え、光ファイバー網整備事業費補助金の皆増によるものであります。

町債は、6億 8,240万円で、前年度比 31.3%の減となりました。これは、臨時財政対策債は増額しているものの、公園整備事業債と川の駅整備事業債の皆減に加え、函南中学校大規模改修工事に伴う学校教育施設等整備事業債の減額によるものであります。

これらに、地方消費税交付金等の交付金を加えた依存財源の総額は 47億 1,190万 4千円で、前年度比 3億 5,212万 2千円、7.0%の減となり、歳入に占める依存財源の割合は、1.3ポイント減の 41.9%となりました。

歳 出

議会費は、1億 1,948万 2千円で、1.7%の増となりました。これは、本会議場の音響、映像設備の改修工事費の皆増によるものであります。主な歳出として、議員報酬と職員給与等議会の運営及び活動費等を計上いたしました。

総務費は、12億 610万 8千円で、10.3%の増となりました。これは、参議院議員、県議会議員、町議会議員選挙に係る事務費や山間地域における光ファイバー網の整備に係る補助金の皆増によるものであります。主な歳出として、職員人件費、庁舎維持経費に係る財産管理事業費、公園管理費、文書広報事務経費、電子計算事務の執行経費等を計上いたしました。

民生費は、40億 1,738万 1千円で、0.1%の減となりました、これは、障害者支援扶助費やこども医療費は増額しているものの、老人いこいの家の用地取得費の皆減に加え、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の減額によるものであります。主な歳出として、児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉事業に係る経費、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金に係る経費等を計上いたしました。

衛生費は、9億 8,710万 8千円で、6.2%の増となりました。これは、施設管理費用として、温泉会館の改修工事費や最終処分場の施設機器の更新工事費の増額によるものであります。主な歳出として、町民の健康保持と増進を図る検診事業に伴う経費、可燃ごみの安定的な処理や不燃ごみの適正処理費用、合併処理浄化槽の普及に係る経費等を計上いたしました。

労働費は、1,235万 8千円で、0.1%の増となりました。主な歳出として、シルバー人材センターへの運営費補助金等を計上いたしました。

農林水産業費は、2億 3,608万 6千円で、14.5%の減となりました。これは、農免農道の整備に係る建設負担金や排水機場の改修に係る建設負担金の減額によるものであります。主な歳出として、農業委員会事務事業、畜産振興事業、町営土地改良事業等に係る経費、農業集落排水事業特別会計への繰出金等を計上いたしました。

商工費は、2億 1,331万 3千円で、51.3%の減となりました。これは、川の駅の開業による施設管理に係る事業費は皆増しているものの、水防多目的センターの建設工事や水辺広場の整備工事などの事業費の皆減によるものであります。主な歳出として、川の駅・道の駅の管理運営費、観光振興を図る経費、消費生活相談員の報酬、勤労者福祉サービスセンター負担金、商工会事業や町観光協会への補助金等、商工振興に係る費用等を計上いたしました。

土木費は、10億 4,882万 3千円で、13.5%の減となりました。これは、下水道事業特別会計から組み替えた都市下水路に係る事業費が皆増しているものの、空家等対策計画や景観計画などの各種計画策定に係る事業費の皆減に加え、運動公園の施設整備費用の減額によるものであります。主な歳出として、国庫補助道路改良事業や河川改修事業、都市計画事業に係る費用等を計上いたしました。

消防費は、6億 5,178万 1千円で、0.8%の増となりました。これは、駿東伊豆消防組合負担金の増額に加え、第2分団軽井沢地区の消防ポンプ自動車の購入費の皆増によるものであります。主な歳出として、駿東伊豆消防組合負担金、消防団の活動費用、町内各自治会の消防防災資機材の整備費用に係る防災対策費用等を計上いたしました。

教育費は、17億 3,330万円で、12.1%の減となりました。これは、2年目の函南中学校の大規模改修工事費の減額によるものであります。主な歳出として、小学校、中学校の施設維持修繕のための工事費をはじめ、外国語指導助手、指導主事、相談員、指導員の人件費のほか、教育支援センター運営費用、給食調理業務委託費、各幼稚園の運営等の学校教育に係る費用、文化センターや図書館、運動公園等の各施設の管理運営、スポーツ振興に係る費用、生涯学習の推進等の社会教育に係る費用等を計上いたしました。

災害復旧費は、4千円で、科目設定のみといたしました。

公債費は、9億 9,625万 6千円で、0.7%の増となりました。償還金は、元金分として9億 2,180万 4千円、利子分として 7,445万 1千円、一時借入金の科目設定として1千円を計上いたしました。

そのほか、予備費 2,000万円を計上しました。

これらの結果、経常的経費の総額は、88億 2,795万 8千円で、前年度比 6億 2,861万 7千円、7.7%の増となり、歳出に占める経常的経費の割合は、8.7ポイント増の 78.5%となりました。

一方、投資的経費の総額は、12億 5,696万 8千円で、前年度比 5億 8,477万 1千円、31.8%の減となり、歳出に占める投資的経費の割合は、4.5ポイント減の 11.2%となりました。

土地取得特別会計予算

平成31年度函南町の土地取得特別会計予算は、歳入歳出予算の総額は 2,142万円で、前年度と比べ 179万7千円の増額であります。これは、土地開発基金への繰出金が皆減しているものの、新田地区の第1樋管と第2樋管を繋ぐバイパス水路整備に係る土地購入費の皆増によるものであります。

歳入は、繰入金 2,142万円で、歳出は、諸支出金 2,142万円であります。

国民健康保険特別会計予算

平成31年度函南町の国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 41億 5,440万7千円で、前年度と比べ 4億 4,910万3千円の減額であります。

歳入は、国民健康保険税が 8億 7,467万9千円、県支出金 29億 1,673万3千円等であります。

歳出は、保険給付費が 28億 5,833万7千円、国民健康保険事業費納付金 12億 153万1千円等であります。保険給付費は、県が示す試算値と過去の給付状況を踏まえ、必要額を計上したものであります。

後期高齢者医療特別会計

平成31年度函南町の後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 4億 5,182万3千円で、前年度と比べ 481万5千円の増額であります。

本特別会計は、町が徴収する後期高齢者医療保険料を会計するものであり、歳入は、保険料 3億 7,520万3千円と保険基盤安定繰入金 7,541万円等で、歳出は、広域連合への納付金 4億 5,161万4千円と保険料過年度償還金等 20万9千円であります。

介護保険特別会計予算

平成31年度函南町の介護保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 28億 9,383万 8 千円で、前年度と比べ 9,931万 6 千円の減額であります。

歳入は、介護保険料 7億 4,636万 6 千円、国、県支出金 9億 9,226万 4 千円、支払基金交付金 7億 5,317万 5 千円等であります。

歳出は、職員人件費や介護認定等の総務費が 5,507万 8 千円、各種介護保険サービスの事業費である介護給付費と予防給付費が 27億 3,565万 7 千円、介護予防や包括的支援等の地域支援事業費が 1億 255万 9 千円であります。

下水道事業特別会計予算

平成31年度函南町の下水道事業特別会計予算は、公営企業会計を適用することとなり、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益 9億 7,654万 7 千円のうち、営業収益は 7億 3,080万 6 千円で、このうち主なものとして下水道使用料の収入が 2億 9,471万 7 千円、他会計負担金として、一般会計繰入金の 4億 3,600万 9 千円を計上しております。

支出は事業費用 10億 2,585万円のうち、営業費用が 9億 4,398万 6 千円で、管渠維持管理費、流域下水道管理事業負担金、減価償却費等であります。また、営業外費用 7,017万 5 千円は企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入は 2億 9,570万 2 千円であり、企業債、国庫補助金、受益者負担金及び分担金による収入であります。支出は 5億 9,572万 6 千円のうち建設改良費 3億 2,956万 5 千円で、主な事業は、未普及対策における管渠埋設工事等の工事費であります。また、企業債の元金償還金が 2億 6,616万 1 千円であります。

農業集落排水事業特別会計

平成31年度函南町の農業集落排水事業特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 1,124万2千円で、前年度と比べ 316万2千円の増額であります。

歳入は、使用料及び手数料 123万8千円、繰入金 787万8千円、国庫支出金 200万円等があります。

歳出は、事業費 711万1千円、公債費 412万円等があります。

上水道事業特別会計予算

平成31年度函南町の上水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益 6億 3,514万2千円のうち、営業収益は 5億 4,020万円で、このうち水道料金収入は 5億 2,200万円を計上しております。

支出は事業費用 5億 1,618万8千円のうち、営業費用は 5億 603万4千円で、維持管理費、減価償却費等であります。また、営業外費用 815万4千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入が 2億 150万1千円であり、そのうちの主なものは企業債の2億円であります。支出は 5億 2,397万円のうち建設改良費が 4億 8,068万8千円で、主な事業は、第1浄水場更新工事、老朽管の布設替え、施設の更新等の工事費であります。また、企業債の元金償還金が 4,328万2千円であります。

畑、丹那簡易水道特別会計予算

平成31年度函南町の畑、丹那簡易水道特別会計予算は、公営企業会計を適用することとなり、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益 969万2千円のうち、営業収益が 545万3千円で、このうち水道料金収入は 544万2千円を計上しております。

支出は事業費用 1,087万8千円のうち、営業費用が 1,057万7千円で、維持管理費、営農飲雑用水整備事業負担金、減価償却費等であります。また、営業外費用の 22万9千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出の予算は、20万8千円であります。収入については、基金の取崩であり、支出についての主なものは、企業債の元金償還金 17万5千円であります。

田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算

平成31年度函南町の田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算は、公営企業会計を適用することとなり、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益 3,787万5千円のうち、営業収益が 1,040万8千円で、このうち水道料金収入は 908万9千円を計上しております。

支出は事業費用 4,196万1千円のうち、営業費用が 4,144万4千円で、維持管理費、減価償却費等であります。また、営業外費用 18万円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入が 2,215万5千円であり、基金の取崩による収入であります。支出は 2,223万6千円のうち建設改良費が 2,185万5千円で、主な事業は、鬻の沢取水ポンプ更新工事の工事費であります。また、企業債の元金償還金が 35万1千円であります。

東部簡易水道特別会計予算

平成31年度函南町の東部簡易水道特別会計予算は、公営企業会計を適用することとなり、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入及び支出では、収入は事業収益 1 億 7,774万 2 千円のうち、営業収益が 1 億 1,651万 5 千円で、このうち水道料金収入は 1 億 1,646万 4 千円を計上しております。

支出は事業費用 1 億 8,880万 2 千円のうち、営業費用が 1 億 7,874万 5 千円で、維持管理費、駿豆水道受水費、減価償却費等であります。また、営業外費用 52万 5 千円の主なものは企業債の支払利息であります。

資本的収入及び支出では、収入は 1,186万 4 千円であり、基金の取崩による収入であります。支出は 2,245万 2 千円のうち建設改良費が 2,206万 9 千円で、主な事業は第1ポンプ場送水ポンプ改修工事、給水管の布設替工事等の工事費であります。また、企業債の元金償還金が 34万 2 千円であります。

平井財産区特別会計予算

平成31年度函南町の平井財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 121万 3 千円で、前年度と比べ 72万 9 千円の減額であります。

歳入は、基金利子 10万 6 千円と基金からの繰入金 110万 7 千円で、歳出は、基金利子の元加積立 10万 6 千円と管理会経費 10万 7 千円、一般会計への繰出金 100万円であります。

上沢財産区特別会計予算

平成31年度函南町の上沢財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 1 千円で、前年度と同額であります。

歳入は、基金利子 1 千円で、歳出は、基金利子の元加積立 1 千円であります。